



七夕

Anita Ryan

Brauer College
Victoria, Australia



学習者年齢： 11～12才
日本語レベル： 初級
文化面の目的： 七夕祭りを通じて日豪の気候や年中行事を比較する
学習する日本語： 七夕に関連する語句
“～がほしいです”

学習目標

- ・同じ7月でも、南半球にあるオーストラリアでは寒く、北半球にある日本では暖かい。七夕祭りを通じて、オーストラリアと日本の気候や年中行事を比較する。
- ・構文「～がほしいです」を導入し、その構文を使って七夕飾りの願い事ができるようにする。
- ・七夕伝説を聞いたり絵や写真を見たりして、七夕祭りを理解する。
- ・七夕に関する語いや短冊に願い事を書くときに必要なひらがなとカタカナを習う。

授業の進め方

<用意する物>

- ・七夕伝説の本
- ・小さな木か枝（できれば竹、笹）
- ・短冊（先端に穴を空けておく）
- ・ひも、はさみ
- ・折り紙と天の川やちようちんの飾りつけに関する説明書き

<学習語い>

七夕、短冊、平和な世界、お金、犬、ダイヤモンド、アイスクリーム、

学校の休み、遠足（語いを黒板に書いておく）

<進行方法>（所要時間）

1. 七夕伝説と七夕祭りについて全員で討論する。（10分）
2. 構文「～がほしいです」を説明し、実際に文章を作る練習を行って、生徒から新しい語いがあがってくるように促す。（7分）
3. 構文「～がほしいです」や黒板に書かれた単語を使って、ひらがなを練習する。（3分）
4. 生徒が各自、短冊に願い事を書き、先生に見てもらった後、枝に下げる。終わった生徒は、天の川やちようちんの飾りつけをする。（25分）
5. 生徒全員で教室を掃除する。（5分）

生徒の意見・反応

（「 」内は生徒の言葉）

- ・七夕の授業のあと、夜空の星を眺めて彦星と織女星を捜すようになった。
- ・科学の授業で使う北半球の星図に興味を示すようになった。
- ・日本のほかの祭りにも強い関心を

抱くようになり、日本語力を駆使して、「まつりがほしいです」と言った（完全に正しい日本語ではないが、生徒たちが日本語で気持ちを伝えようとしているのがとてもうれしかった）。

外国語学習と文化理解

文化に重点を置いたイマージョンプログラムを通じて日本文化を知ることになったことから、私は言語学習に文化的側面を取り入れることの意義を確信している。単一言語社会に住んでいるビクトリア州の子どもたちが、文化的側面を重視したアクティビティを盛り込んだ外国語学習を通じて学習意欲を向上させることにみられるように、言語と文化を結びつけることは、日本語学習にとって効果が大きい。文化的側面を取り入れない言語のみの学習の場合、生徒の学習意欲は低いレベルにとどまる。